



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場会社名 株式会社ユアテック

上場取引所 東

コード番号 1934 URL <http://www.yurtec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐竹 勤

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小笠原 達治 TEL 022-296-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	101,740	4.0	4,885	6.5	4,941	2.8	3,260	△ 4.5
28年3月期第2四半期	97,818	6.9	4,588	227.7	4,806	163.2	3,412	228.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,406百万円(△2.2%) 28年3月期第2四半期 3,483百万円(174.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	40.99	—
28年3月期第2四半期	42.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	175,349	102,484	58.4
28年3月期	187,598	99,801	53.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 102,459百万円 28年3月期 99,766百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭

特別配当 3円00銭

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	224,000	△ 1.4	12,000	△ 21.3	12,500	△ 20.3	9,000	△ 14.0	113.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名 — )、除外 — 社 (社名 — )

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	81,224,462株	28年3月期	81,224,462株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,694,062株	28年3月期	1,691,323株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	79,531,642株	28年3月期2Q	79,557,080株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

(参考) 個別業績予想

平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	214,000	△ 1.3	11,000	△ 17.4	11,500	△ 16.2	8,000	△ 8.5	100 . 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. (参考) 個別業績の概要	9
(1) 平成29年3月期第2四半期の個別業績	9
①個別経営成績(累計)	9
②個別財政状態	9
(2) 個別業績の工事別・得意先別内訳	10
①工事別受注工事高	10
②工事別完成工事高	10
③工事別手持工事高	10
④得意先別受注工事高	11
⑤得意先別完成工事高	11
⑥通期受注工事高及び完成工事高の予想	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面に鈍さがみられるものの、高水準で推移する企業収益を背景に雇用・所得環境が着実に改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界においては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資は企業収益の改善等を背景に緩やかな増加基調にあるものの、建設需要の拡大に伴う労働力不足や資材費の高騰が続く状況となりました。

このような状況のもと、当社は、引き続き東北地域の復興事業に取り組むとともに、企業変革に積極的に挑戦し、競争を勝ち抜くユアテックの実現に向け、企業グループの総力を結集して、以下のような諸施策に取り組んでおります。

具体的には、被災地域の復興に資するべく、復興関連工事の受注獲得に努めております。また、太陽光・風力等の再生可能エネルギー関連工事や当社事業の基盤である東北地域と新潟県、関東圏において工場や病院、事務所ビル、公共施設等の大型工事の受注獲得に注力しております。

さらに、今後一層の拡大が予想されるリニューアル市場において、お客さまや地域のニーズに柔軟かつ機動的に対応できる組織の整備や、当社の海外拠点としてはベトナム国に続き2カ国目となるミャンマー国に事務所を設立し、海外事業拡大に向けた体制の強化をはかりました。

配電線などの電力工事においては、確実な受注の確保に努めるとともに、電力安定供給のための設備工事・修繕工事等に注力しております。加えて、送電線工事においては、超高压基幹送電線である南山形幹線の鉄塔組立工事も終盤を迎え、架線工事にも一部着手しております。

情報通信工事においては、民間通信事業者の光ファイバーケーブル敷設工事などのほか、復興関連工事の受注獲得にも注力しております。

また、経営の基本である安全確保の徹底と施工・業務品質の向上をベースとした業務運営を継続して実践するとともに、原価低減の推進などにより競争力を強化し、企業グループ一丸となって収益拡大をはかっております。

以上の結果、当第2四半期の連結売上高は 101,740百万円（前年同期比 4.0%増）となりました。

また、連結営業利益は 4,885百万円（前年同期比 6.5%増）、連結経常利益は 4,941百万円（前年同期比 2.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 3,260百万円（前年同期比 4.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における資産合計は 175,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ 12,249百万円減少いたしました。これは、完成工事未収入金等の売掛債権の減少などによるものであります。

負債合計は 72,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ 14,932百万円減少いたしました。これは、工事未払金等の支払債務の減少などによるものであります。

純資産合計は 102,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,683百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の先行きは、新興国経済の下振れや英国の欧州連合（EU）離脱問題などによる影響が懸念されるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復に向かうことが期待されます。

建設業界においては、公共投資は関連予算の早期執行や補正予算による押し上げ効果が期待され、民間設備投資は企業収益の改善等を背景に緩やかな増加基調が続くと想定されます。

また、電力工事は、電力安定供給のための設備工事・修繕工事等が引き続き堅調に推移していくものと見込まれております。

このような状況を踏まえ、当社は、平成26年度中期経営方針（平成26～30年度）の主要施策である安全確保の徹底と施工・業務品質の向上、事業基盤の強化による戦略的企業構造への変革、競争力の強化による企業グループ一丸となった収益拡大に、引き続き取り組んでまいります。

加えて、平成26・27年度の取り組み成果を糧とし、さらなる成長を確固たるものにするため、平成28年度中期経営計画に設定した4つの力点である①事業基盤の確立と競争力の強化、②収益力拡大に向けた事業モデルの構築と電力システム改革等への対応、③活力と魅力ある職場づくり、④Yurtecブランド（安全・品質・信頼）の向上に重点的に取り組むことで、中期基本目標である「企業変革に積極的に挑戦し、競争を勝ち抜く強靱なユアテックの実現」を目指してまいります。

なお、通期の業績予想については、平成28年7月27日に公表した数値から変更は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算方法）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

### （3）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	21,193	22,003
受取手形・完成工事未収入金等	76,428	56,220
電子記録債権	4,747	7,233
未成工事支出金	2,667	6,987
その他	23,975	22,224
貸倒引当金	△167	△130
<b>流動資産合計</b>	<b>128,844</b>	<b>114,539</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	17,642	17,291
土地	16,243	16,371
その他（純額）	8,147	8,858
<b>有形固定資産合計</b>	<b>42,034</b>	<b>42,521</b>
無形固定資産	1,619	1,484
<b>投資その他の資産</b>		
その他	15,511	17,114
貸倒引当金	△412	△310
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>15,099</b>	<b>16,803</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>58,753</b>	<b>60,809</b>
<b>資産合計</b>	<b>187,598</b>	<b>175,349</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	39,993	27,691
電子記録債務	9,547	8,257
短期借入金	2,375	2,500
工事損失引当金	92	50
災害損失引当金	66	66
その他	14,326	12,159
流動負債合計	66,400	50,725
固定負債		
長期借入金	4,968	5,598
役員退職慰労引当金	101	111
退職給付に係る負債	14,445	14,569
その他	1,882	1,860
固定負債合計	21,396	22,139
負債合計	87,797	72,864
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,803	7,803
資本剰余金	7,813	7,819
利益剰余金	88,548	91,053
自己株式	△752	△754
株主資本合計	103,413	105,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177	157
土地再評価差額金	△2,359	△2,320
為替換算調整勘定	17	3
退職給付に係る調整累計額	△1,481	△1,304
その他の包括利益累計額合計	△3,646	△3,463
非支配株主持分	34	25
純資産合計	99,801	102,484
負債純資産合計	187,598	175,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	97,818	101,740
売上原価	85,203	88,641
売上総利益	12,614	13,099
販売費及び一般管理費	8,025	8,213
営業利益	4,588	4,885
営業外収益		
受取利息	96	104
受取賃貸料	90	89
その他	129	125
営業外収益合計	315	320
営業外費用		
為替差損	70	233
その他	26	31
営業外費用合計	97	264
経常利益	4,806	4,941
特別利益		
関係会社株式売却益	369	—
事業譲渡益	178	—
受取損害賠償金	49	43
その他	14	10
特別利益合計	612	53
特別損失		
固定資産除却損	18	52
固定資産撤去費	2	59
その他	76	29
特別損失合計	96	140
税金等調整前四半期純利益	5,321	4,853
法人税、住民税及び事業税	1,898	1,598
法人税等調整額	△16	△7
法人税等合計	1,881	1,590
四半期純利益	3,440	3,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,412	3,260

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,440	3,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△19
為替換算調整勘定	△9	△14
退職給付に係る調整額	42	177
その他の包括利益合計	42	143
四半期包括利益	3,483	3,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,454	3,403
非支配株主に係る四半期包括利益	28	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. (参考) 個別業績の概要

(1) 平成29年3月期第2四半期の個別業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

① 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	97,186	4.6	3,964	6.0	4,037	2.0	2,658	△ 3.6
28年3月期第2四半期	92,937	7.2	3,739	317.6	3,957	197.5	2,759	255.5

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
29年3月期第2四半期	33	43
28年3月期第2四半期	34	68

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	155,363	92,606	59.6
28年3月期	167,892	90,685	54.0

(2) 個別業績の工事別・得意先別内訳

① 工事別受注工事高

期別 工事別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	45,789	33.7	37,550	33.2	△ 8,239	△ 18.0
配電線工事	35,584	26.2	31,470	27.8	△ 4,113	△ 11.6
送電・発変電・土木建築 情報通信工事	36,949	27.2	33,171	29.3	△ 3,777	△ 10.2
空調管工事	17,466	12.9	11,022	9.7	△ 6,443	△ 36.9
合計	135,789	100	113,215	100	△ 22,573	△ 16.6

② 工事別完成工事高

期別 工事別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	34,536	37.1	35,606	36.6	1,069	3.1
配電線工事	26,554	28.6	28,529	29.4	1,975	7.4
送電・発変電・土木建築 情報通信工事	21,842	23.5	23,589	24.3	1,746	8.0
空調管工事	10,003	10.8	9,461	9.7	△ 542	△ 5.4
合計	92,937	100	97,186	100	4,248	4.6

③ 工事別手持工事高

期別 工事別	前第2四半期会計期間末		当第2四半期会計期間末		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	68,882	48.0	55,517	43.5	△ 13,365	△ 19.4
配電線工事	19,051	13.3	21,294	16.7	2,243	11.8
送電・発変電・土木建築 情報通信工事	36,455	25.4	36,769	28.9	314	0.9
空調管工事	19,085	13.3	13,844	10.9	△ 5,241	△ 27.5
合計	143,474	100	127,425	100	△ 16,049	△ 11.2

④ 得意先別受注工事高

期 別 得意先別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	増減率 (%)
東 北 電 力 (株)	61,315	45.1	57,800	51.0	△ 3,514	△ 5.7
官 公 庁	4,305	3.2	3,572	3.2	△ 732	△ 17.0
一 般 民 間	70,169	51.7	51,842	45.8	△ 18,326	△ 26.1
合 計	135,789	100	113,215	100	△ 22,573	△ 16.6

⑤ 得意先別完成工事高

期 別 得意先別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	増減率 (%)
東 北 電 力 (株)	37,930	40.8	42,944	44.2	5,014	13.2
官 公 庁	3,775	4.1	3,178	3.3	△ 597	△ 15.8
一 般 民 間	51,231	55.1	51,063	52.5	△ 168	△ 0.3
合 計	92,937	100	97,186	100	4,248	4.6

⑥ 通期受注工事高及び完成工事高の予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

区 別 工事別	受注工事高		完成工事高	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
屋 内 配 線 工 事	76,500	37.2	80,000	37.4
配 電 線 工 事	55,500	26.9	55,500	25.9
送電・発電電・土木建築 情報通信工事	52,000	25.2	56,500	26.4
空 調 管 工 事	22,000	10.7	22,000	10.3
合 計	206,000	100	214,000	100

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。